

難病支援チャリティー寄金に携わってくださった方にお礼と 国会請願書署名に携わってくださった方への感謝とお礼の言葉

秋になり空は青く澄み渡り、ひんやりとしたそよ風が吹くもと、10月14日に「北上さくらホール（小ホール）内」で行なわれた形のfolkの森 アコースティック LIVE 復興・難病支援チャリティー vol.14

2021年4月から始まり四季折々「森」の色が変わるようにと「季節毎」の開催がされるfolkの森 アコースティック LIVE。今回のテーマはfolk VS 演歌

folkの森 アコースティック LIVEの方には、難病連から小児慢性自立支援員の吉田さん、難病相談支援員の菊池さん、難病連【加盟団体代表】岩手県心筋症の会 梅田などが当日会場内に足を運び、folkの森アコースティック LIVE 復興・難病支援チャリティーが始まる前「難病連」を代表し、日頃のチャリティー寄金寄付のお礼と、難病・長期慢性疾病・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進を求める請願書署名のお願いについて挨拶をさせてもらった岩手県心筋症の会【代表】となる私。

そして難病連から、いつも寄付をいただき感謝しているfolkの森緑化推進議会さまには代表となる照井さまの方に、感謝の気持ちとお礼を込めて贈らせていただいたフラワーアレンジメント。

LIVEの途中からは難病連【代表理事】となります佐藤代表の方も会場内に足を運んでくださり堪能させてもらった懐かしの演歌やフォークソングは本当に心に響き沁みわたるもの。

また会場内後ろの特設ブースコーナーに於いては、多くのご来場者の皆さま方から国会請願書署名に関し、頑張ってくださいとの温かい言葉やご署名の方をいただき、会場内に設置されてあります募金箱の方にも多くの善意が込められた寄付が集められ、folkの森緑化推進協議会さまを通じ、難病連の方にも寄付を賜りました。本当にありがとうございます。

これからも是非、温かく難病連の方を見守っていただき、又は支えてくださいますよう心からお願いを申し上げます、私からの感謝の気持ちとお礼の言葉に代えさせていただきます。

難病連

岩手県心筋症の会

代表 梅田 拓也